

群馬県

分析レポート

あなたが思う

「クリエイティブな人生（暮らし）」
のイメージを教えてください

PoliPoli Gov

2024年10月21日



目次

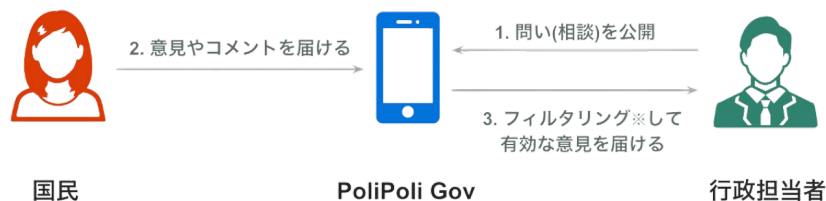
01.意見募集の概要・実施結果	P.3
02.カテゴリごとの分析	P.6
03.クロス分析と考察	P.7
04.提案的なコメントピックアップ	P.11



意見募集の概要・実施結果

- **実施内容**：クリエイティブな人生（暮らし）に関する意見募集を行った。
- **調査方法**：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- **意見募集のテーマ**
 - あなたが思う「クリエイティブな人生（暮らし）」のイメージを教えてください
- **調査期間**：2024/07/16～2024/09/16（62日間）
- **調査地域**：全国オンライン
- **ページ閲覧数**：2,842PV
- **総コメントユーザー数**：84人（*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- **総コメント投稿数**：120件（*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- **回答者の属性（必須回答）**：
 - **年齢**：10代以下,20代,30代,40代,50代,60代,70代以上,非回答
 - **群馬県との関わり**：群馬に居住・通勤・通学している,過去、群馬に居住・通勤/通学した,観光などで群馬を訪れた,群馬を訪れたことはない,非回答

意見募集の仕組み

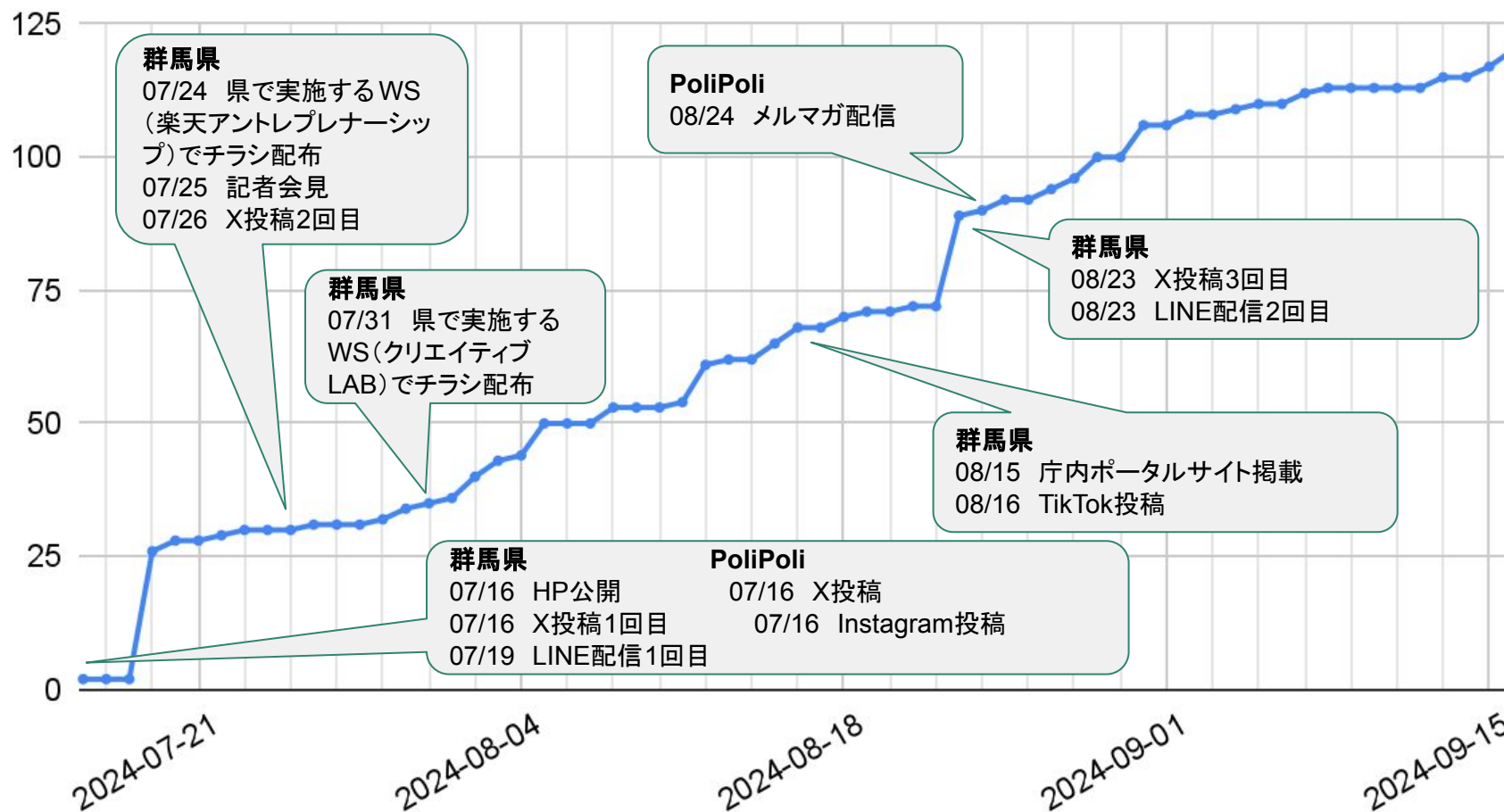


※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



意見募集の概要・実施結果 | コメント数の日次推移

コメント数推移(日次)

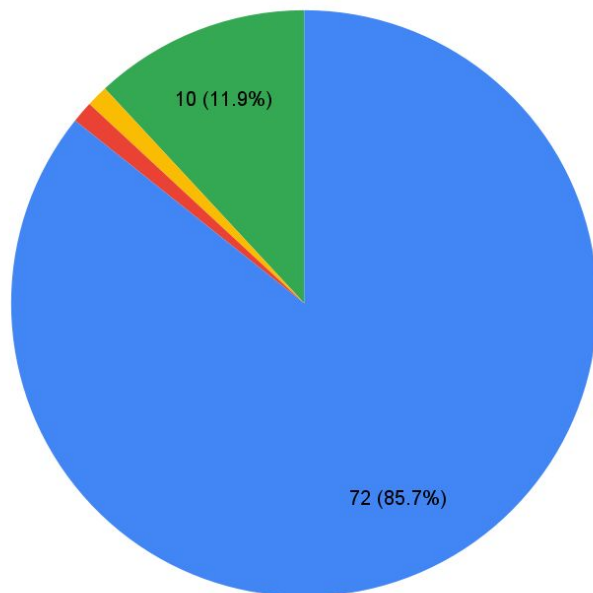


意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- あなたと群馬県との関わりについては、群馬に居住・通勤・通学しているユーザーが72名（85.7%）、その他が12名（14.3%）であった。
- 年代については20代が10名（11.9%）、30代が最も多く35名（41.7%）、40代が21名（25.0%）、50代が10名（11.9%）となった。30代と40代の合計は56名（66.7%）で、多くの意見が30、40代から集まった。

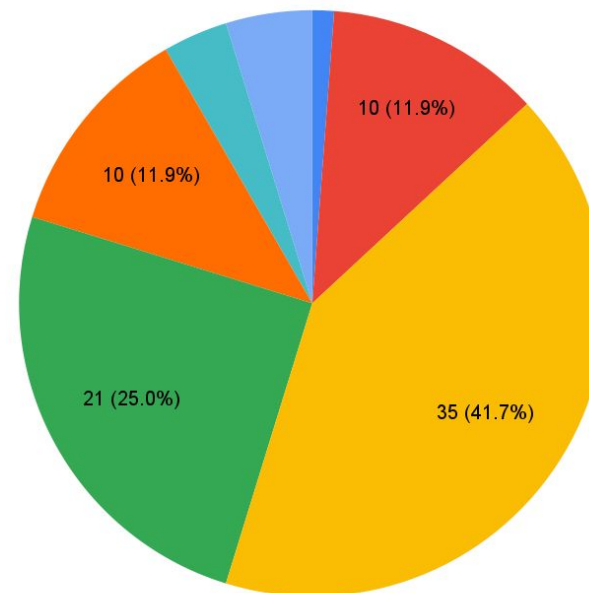
あなたと群馬県との関わり(UU 84人)

- 群馬に居住・通勤・通学している
- 過去、群馬に居住・通勤/通学した
- 観光などで群馬を訪れた
- 群馬を訪れたことはない



あなたの年代(UU 84人)

- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

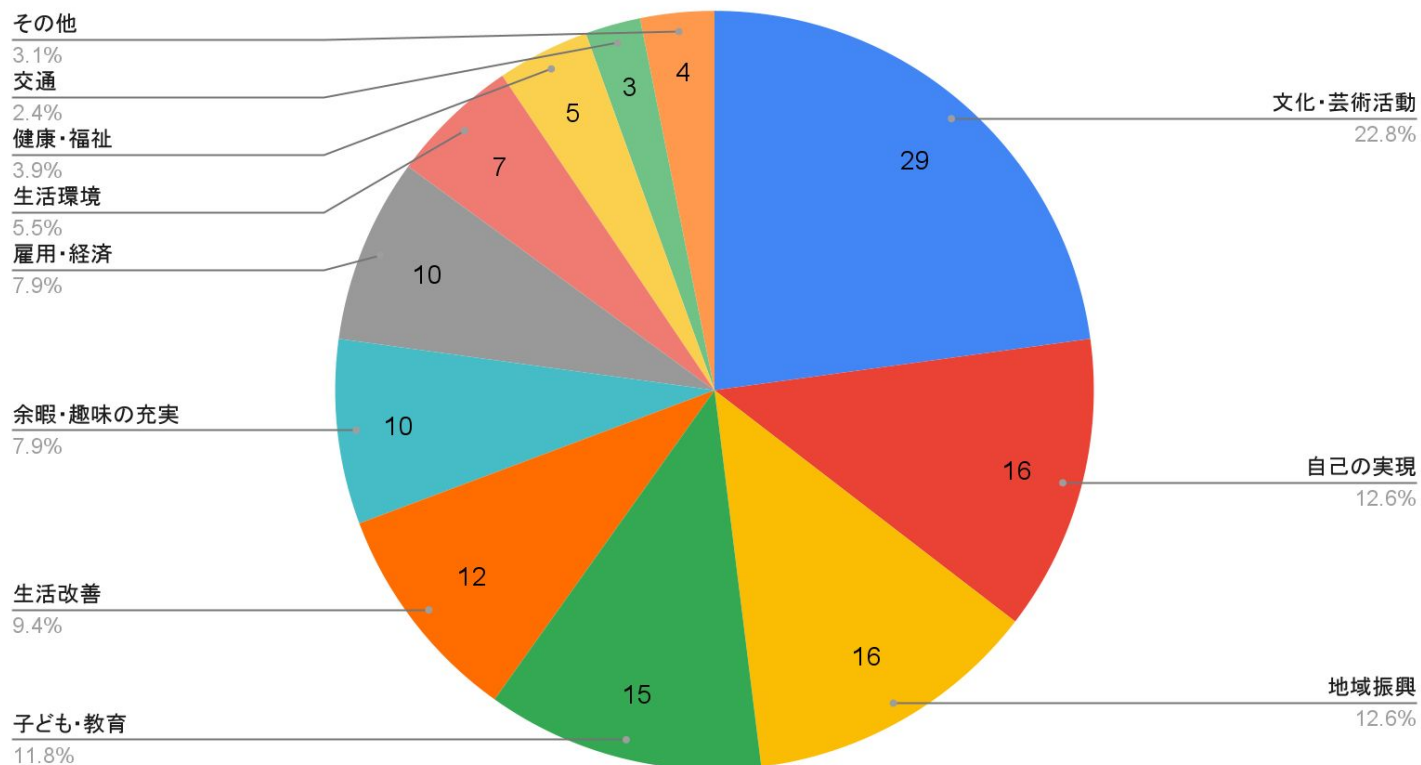


※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

カテゴリごとの分析 | クリエイティブな人生（くらし）

- コメントカテゴライズを行ったところ、以下のグラフのとおりとなった。
 - 「文化・芸術活動」が最も多く29名（22.8%）。次いで「自己の実現」と「地域復興」が16名（12.6%）で同率であった。「クリエイティブ」と聞いて思い浮かべるワードを含むカテゴリが上位となった印象。

コメントカテゴリ(n=127)



※n=127について
1つのコメントで複数カテゴライズしたものを含む。

クロス分析と考察

カテゴリごとの分析 | 群馬県との関わり×カテゴリのクロス分析

- 群馬県との関わりについて、カテゴリ別のクロス分析を行ったところ、以下の通りとなった。

群馬県との関わり×カテゴリ(n=127)

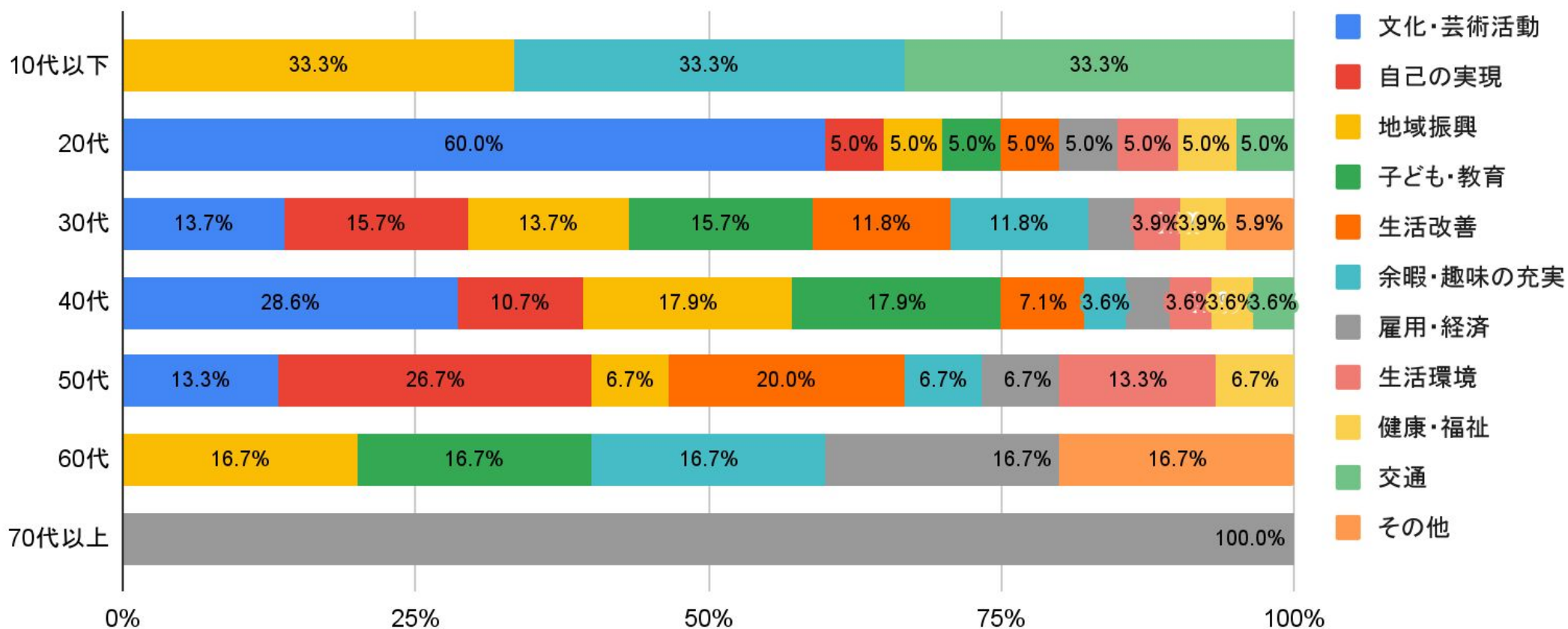


※n=127について
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

カテゴリごとの分析 | 年代×カテゴリのクロス分析

- 年代について、カテゴリ別のクロス分析を行ったところ、以下の通りとなった。

年代×カテゴリ (n=127)



※n=127について
1つのコメントで複数カテゴリ化したものを含む。

クロス分析と考察

<群馬県の関わり×カテゴリのクロス分析>

- 「群馬県に居住・通勤・通学している」しているユーザーからは、全カテゴリにコメントが寄せられており、クリエイティブなくらしに関して多岐にわたる関心がある様子が伺える。
- 「群馬県に居住・通勤・通学している」ユーザーが最も言及したカテゴリは「文化・芸術活動」で26.1%を占めた。群馬県で生活しているからこそ、公共施設（学校、美術館等）への意見や、街中での音楽やアートに関する意見が見られた。
- 「群馬県に居住・通勤・通学している」しているユーザーのみが言及しているカテゴリの中で、「子ども・教育」の割合が高い。子どもたちに豊かな体験を提供することがクリエイティブなくらしに繋がると考える割合が高いと推察される。

<年代×カテゴリのクロス分析>

- 10代以下から70代以上まで、全ての年代から関心が集まったテーマであり、コメントの内容からは、行動選択の自由を広げ、多様な状況で新しい価値を生み出すことに関心がある様子が伺える。
- 20代では「文化・芸術活動」が60%を占めている。音楽や映画、アートなどに関心があり、群馬県で、それらの活動を活発にする方法を模索している意見が見られた。
- 70代以上を除く全ての年代では「地域振興」にコメントしている。クリエイティブなくらしと地域の振興を掛け合わせ、群馬県を盛り上げようとする姿勢が伺える。
- 10代以下を除くすべての年代では「雇用・経済」にも関心を持っており、経済的な余裕がクリエイティブなくらしにつながると考えている人が多い。また、年代が上がるほど「雇用・経済」に対する関心の割合が高くなっている。

提案的なコメント

テーマ別 | 子ども・教育

<クリエイティブなくらしとは>

地域の教育環境の改善やクリエイティブな活動の場を広げ、子どもたちに豊かな体験を提供すること。そのためにも働き方改革や手取りの改善、子育て環境の充実が必要である。

<提案的なコメント>

- 群馬県の広報活動やイベントなど、目に見えるところに若い子や子供たちの参加がもっとできるといいなと思います。特に幼い時の体験や実績は「自分はやればできる」という自信に繋がり、想像だけでなく行動しよう、自分なら出来る、と活動に繋げるための原動力になることでしょう。学校は行けなくても、こういったイベントから学校外の世界に興味を持ち、大きく羽ばたいていく子供たちもいると思います。（県内／40代、一部要約）
- 子供たちに難しい問題を投げかけるところからはじめてほしい。じっくりと議論する時間を与えてあげてほしい。大人と混ぜて議論させてあげてほしい。大人が下手に誘導しなければ、しっかりとファシリテーターがいれば子供たちから素晴らしい意見が聞けると思います。クリエイティブな生活を具体的にのべてはおらず趣旨に反して申し訳ありませんが、小さな枠で小さな変革だけで満足しないでいただきたい。大きなプロジェクトであることを願います。（県内／40代、一部要約）
- 「eスポーツ・クリエイティブ推進課」という課がある。群馬県は、クリエイティブ人材にeスポーツプレイヤーを含むと捉えていると思われる。県が勧めるeモータースポーツは、一番お金がかかるeスポーツだと思われる。そこで、「eスポーツ奨学金」なるものを作れば、個人のお金の問題はある程度解決できるのではないかと思う。対象者は奨学金を元にPCや周辺機器の購入、アップデート、といったことができれば面白いのではないか、と思う。（県内／20代、一部要約）

テーマ別 | 地域振興

<クリエイティブなくらしとは>

群馬県の観光地化、それに伴う交通改善、クリエイティブな環境を作ること。若者の意見を取り入れ、豊かな自然をアピールできるような街づくりを目指すこと。

<提案的なコメント>

- クリエイティブな環境として、群馬の自然を売りたい。具体的には、芳ヶ平湿地群と志賀高原の融合！（県内／40代）
- メタバース空間で群馬県内を観光できる（県内／40代）
- 出会いの創出のために官営マッチングサービスをやってほしい。（県内／30代）
- 県産木材の活用推進の意味でも自由な家づくりの推進をしてほしい。（県内／30代）
- 家の近くにはパワーモール前橋南があり、様々なお店が並んでいてとても便利です。しかしあの場所には大きな問題があります。それは電車が通っていないことです。是非パワーモール前橋南前駅を作っていただきたいです。（過去、群馬に居住・通勤/通学した／10代以下、一部要約）
- 古着屋や古本屋、古家具屋などが集まるまち！一点物や持続可能性にクリエイティビティを触発されそうです。（県内／20代）
- ロケ地活用するなら映画に触れられる場所も増えてほしい。ミニシアターも少し増えましたが、観たい映画が観れないのは悲しいです。（県内／30代、一部要約）

テーマ別 | 文化・芸術活動

<クリエイティブなくらしとは>

地元を舞台にした映画やアニメのロケ地が観光のポイントとなる。クリエイティブな環境の構築や、音楽活動の促進にも期待する。美術館などアートを身近に感じる街が必要。

<提案的なコメント>

- 鑑賞するものがほとんどなので、もっとインタラクティブアートのようなユーザー体験型のアートやクリエイティビティがあったら楽しいと思う。（県内／20代、一部要約）
- 例えば誰でも自由に絵が描ける「表現の壁」みたいなものが住宅街とかいつもの商店街とか田んぼの中にも町中に沢山あったら楽しいな。（県内／50代、一部要約）
- 近未来美術館の建設（県内／40代）
- 民間や個人に任せられることは、そちらへ任せられた方が良く感じます。行政が何かやろうとすると概ねそうじゃないって方向へ進んで行くのでアイデアコンペみたいなのを開いて大賞には、金銭的なものを含めて後押しをするとかが良いのではないのでしょうか？（県内／40代、一部要約）
- シャッター街を活かしたアートイベントを行ってほしい（県内／20代）
- 地元の特産品やゆるキャラをモチーフとして自由に使わせてもらって、個人がグッズやアクセサリー制作をして道の駅など、フリマ、マルシェで販売できると楽しそう。学生も自由に参加してもらえるようにして、自分が作った作品を、目の前で誰かが買ってくれるという経験をして楽しんでもらいたい。（県内／40代、一部要約）
- 映画を車内等から大きなスクリーンで見られる！大きなスクリーンで見られると感動が大きくてクリエイティビティに影響しそうです。（県内／20代）

テーマ別 | 交通

<クリエイティブな暮らしとは>

群馬県に美術館への交通手段や便利な電車がある暮らし。タクシーや無料バスの運行、ショッピングモールや学校の周辺に駅を設け、地域の発展を促進する。

<提案的なコメント>

- 美術館まで高崎タクシーや無料バスが走ってほしいなと感じる。高崎美術館の場所を知らない人が多いし、山田かまち美術館は駅からとても遠い。(県内/20代、一部要約)
- 私が提案したいのは群馬県の電車の発展です。県外に通学していて感じたことは、群馬県の車の普及率の高さと電車の不便さです。通学に2時間以上かかってとても健康的とは言えない生活をしていました。具体的には伊勢崎駅と高崎駅もしくは周辺の駅を繋げて欲しいです。そうすれば太田や館林、伊勢崎から高崎やそのもっと先の高校に行きたいと思っても今よりはるかに早く便利に安く行くことができると考えました。(過去、群馬に居住・通勤/通学した/10代以下、一部要約)
- いつでも気軽に旅ができる。群馬県内なら何処からでも、何処までも1000円で最寄り駅から最寄りの駅までバスに乗ることができる。(県内/40代)

テーマ別 | 雇用・経済

<クリエイティブなくらしとは>

行政には最低賃金の引き上げや働き方改革を求めており、余裕のある生活がクリエイティブな日常につながると考えている。また、生涯現役で働ける社会の実現や、多様な選択肢の提供を望んでいる。

<提案的なコメント>

- 群馬県への切実な願いとしては最低賃金をもう少し上げてくれたら、心に少しは余裕ができてクリエイティブな日常を過ごせる気がします。（県内／50代）
- クリエイティブ活動への助成金や免税が用意されているといい。（県内／30代、一部要約）
- 選択肢が多いこと。商業施設や公共の施設の充実により、暮らしにバリエーションができます。SCやスーパーなど同じような店ばかりで...商店、カフェや図書館、スーパーなど生活がワンパターンにならず、選んで組み合わせることがクリエイティブな暮らしにつながるのかなと思います。（県内／40代、一部要約）
- 何の職種でも良いので、生涯現役で活躍出来る社会を行政が支援することで、税収も上がり、健保も健全運営が実現出来き、年金制度も掛け損の無い社会が実現出来るのではないのでしょうか？（県内／70代以上、一部要約）
- 現在、有償ボランティアをしています。時々、草取りやお風呂の掃除などの依頼がありそのお宅に行っています。自分が助けて貰いたい時、自分が行っていればそのポイントで依頼する事が出来るとか？（県内／70代以上、一部要約）

テーマ別 | 健康・福祉

<クリエイティブなくらしとは>

マイノリティの人々も自由に暮らせる社会を求めている。障がいを抱える当事者、介護の当事者など自分の身近な問題で悩んでいる人たちが、笑顔になれるような仕組みこそがクリエイティブであると考えている。

<提案的なコメント>

- 歳をとって1人暮らしになる人が増えていると思うので、寂しくないように望んだお年寄りが一緒に生活できるそんな環境があるといいなと思います。老人ホームのような高額ではなくて。（県内／40代）
- 身近な問題を誰かにしわ寄せすることで解決する（解決したふりをする）のではなく、利害関係者が智慧を出し合い問題解決のために物事を具体的により良い方向へ進ませる「仕組み」を思い浮かべます。私には介護離職しか選択肢が残りませんでした。行政が支えてくれる介護サービスは随分充実してきました。しかしながらこの世に完璧なものがないように、少なくない数の人々はその制度の網からこぼれ落ちていることでしょう。その網からこぼれてしまった中に私はいるわけですが、そういう人たちを救済するいわば介護離職救済の仕組み構築がいまの私にとって「クリエイティブなくらし」につながるのではないかと考えています。（県内／50代、一部要約）
- 先天的な障害があり車椅子を使用している小学生の娘がいます。アートの分野では、健常者と同じ土俵で戦えるかもしれないということです。「クリエイティブなくらし」が実現することで、誰しものが、同じスタートラインに立てる社会を期待します。（県内／30代、一部要約）

テーマ別 | 生活環境

<クリエイティブな暮らしとは>

安心できる環境を構築することが重要。多様性を保ちながら、余白を意識して自由に創造的な活動ができる場が必要。静かな場所と賑やかな場所のメリハリを持ち、住民の快適な生活を守るべきである。

<提案的なコメント>

- 何かをしたいと思いついたときにその環境が身近にある暮らし。例えば、音楽であれば楽器が自由にひける場所があったり、スポーツであればボールが蹴れたり、投げられたりできる場所があるといいと思う。想像力を活性化させるには余白と自由が必要になるのでは。（県内／30代）
- 街中がロケ地なんて勘弁してください。静かなところで静かに暮らし、賑やかなところで賑やかに暮らすような、メリハリというか区別をちゃんとしてください。ストリートから音楽？そこに住んでいる人がいないのなら良いと思います。（県内／30代、一部要約）
- 野菜や作物、綿などを作り、生活に取り入れること。また、生活で出る廃棄物を再生し、肥料にして生活に還元することもクリエイティブだと思います。（県内／40代）

PoliPoli Gov